

「Forest Track」を活用した 災害調査について



(1) 利用サービス

アジア航測株式会社 現地調査支援システム 「Forest Track (フォレストトラック)」

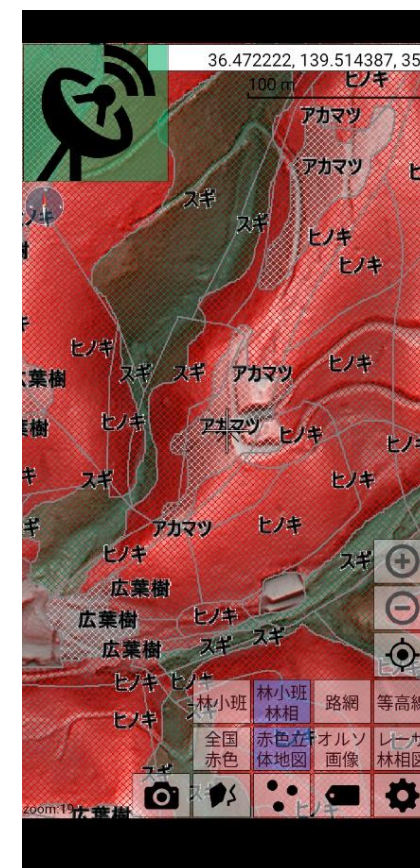
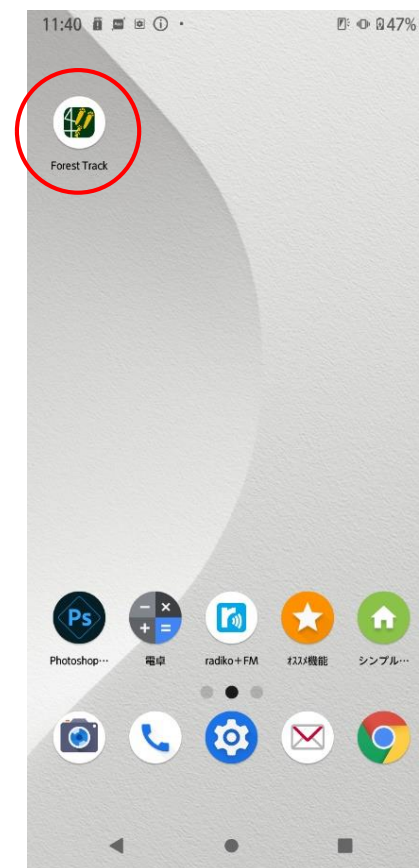


○航空レーザー計測委託業務の成果品として、アプリインストール済のスマートフォンが7台納品済（通信契約なし）。

○令和6年6月に各出先事務所に配布し利用を開始（県西2、県東・県北・県南・矢板各1 計6台）。

○航空レーザー計測成果（赤色立体地図、オルソ画像、レーザ林相図）の外、森林計画図、路網図等を搭載。

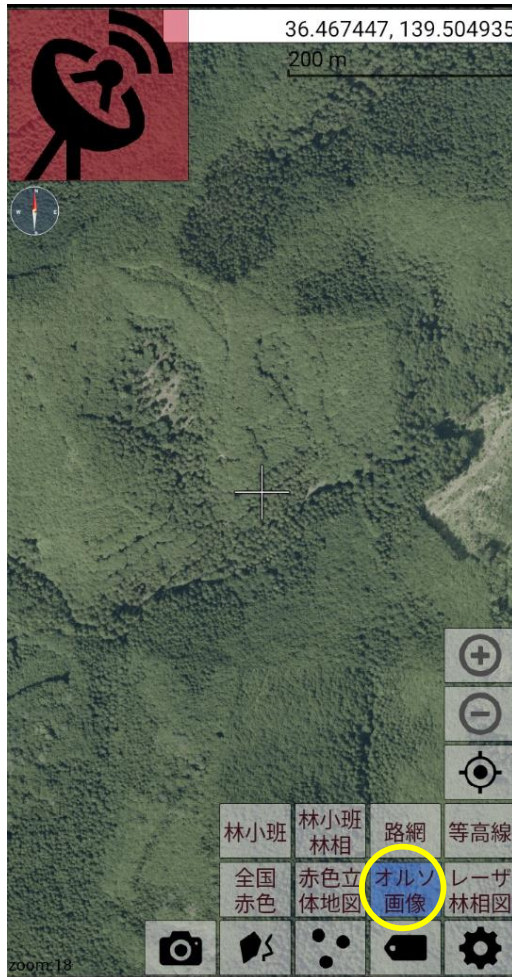
○スマートフォンのGPS機能により、現在地の把握が容易。



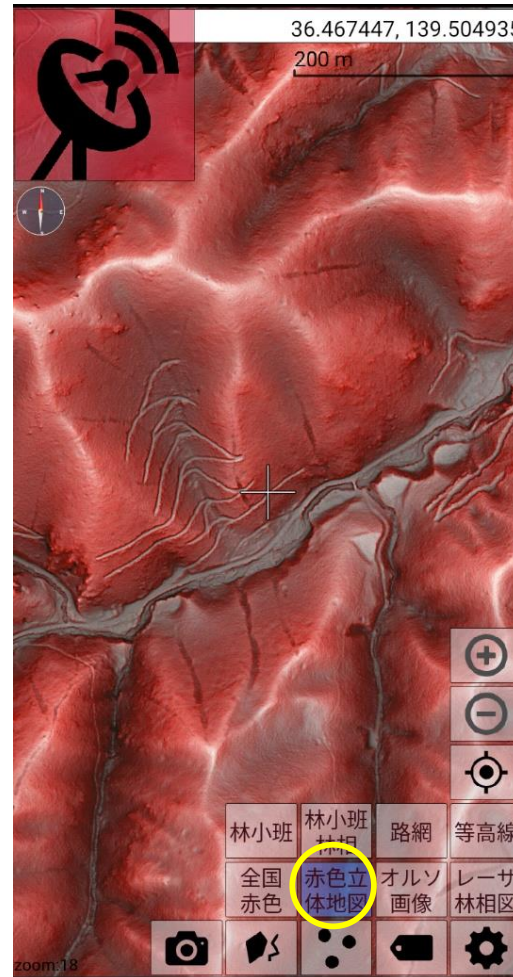
アプリ画面

(2) 「Forest Track (フォレストトラック)」の基本機能

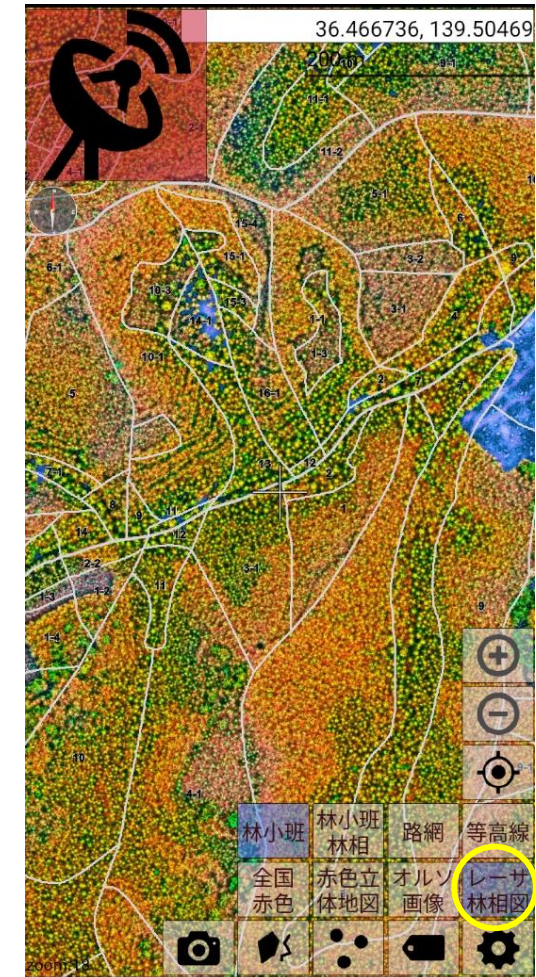
○「Forest Track」の基本画面



オルソ画像



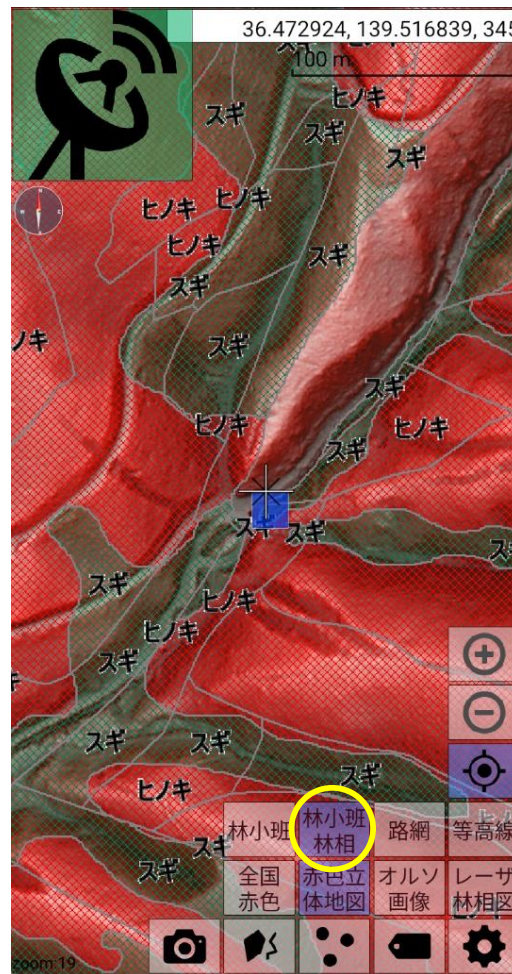
赤色立体地図



レーザ林相図

(2) 「Forest Track (フォレストトラック)」の基本機能

…写真撮影位置



○基本画面に林小班を重ねることで

GPS機能により、現在地を把握。所有界の確認等が容易にできる。

○写真撮影位置も記録可能

アプリのカメラ機能で、撮影位置+写真を記録可能。

(3) 災害調査での活用（林道施設の事例）

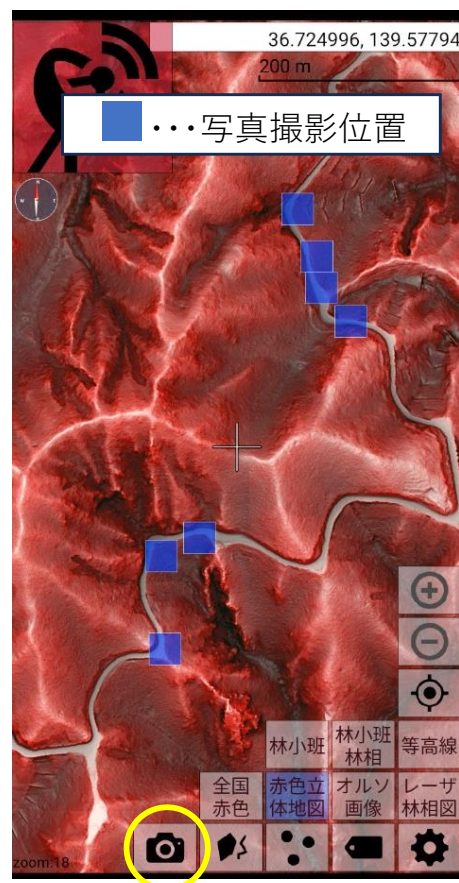
○今までは…



- 紙の図面（森林計画図・地図帳）を準備し、曲線（カーブ）の状況や、林道起終点からの距離等により位置を記録。
- スマートフォンの地図アプリ（Googleマップ等）により位置を特定することも可能であるが、電波の届かない山間部では利用できない場合が多い。
- デジタルカメラで撮影した被害状況写真について、箇所が複数ある場合、どの箇所で撮影した写真であるか整理に時間を要す（類似写真が多い）。

（３）災害調査での活用（林道施設の事例）

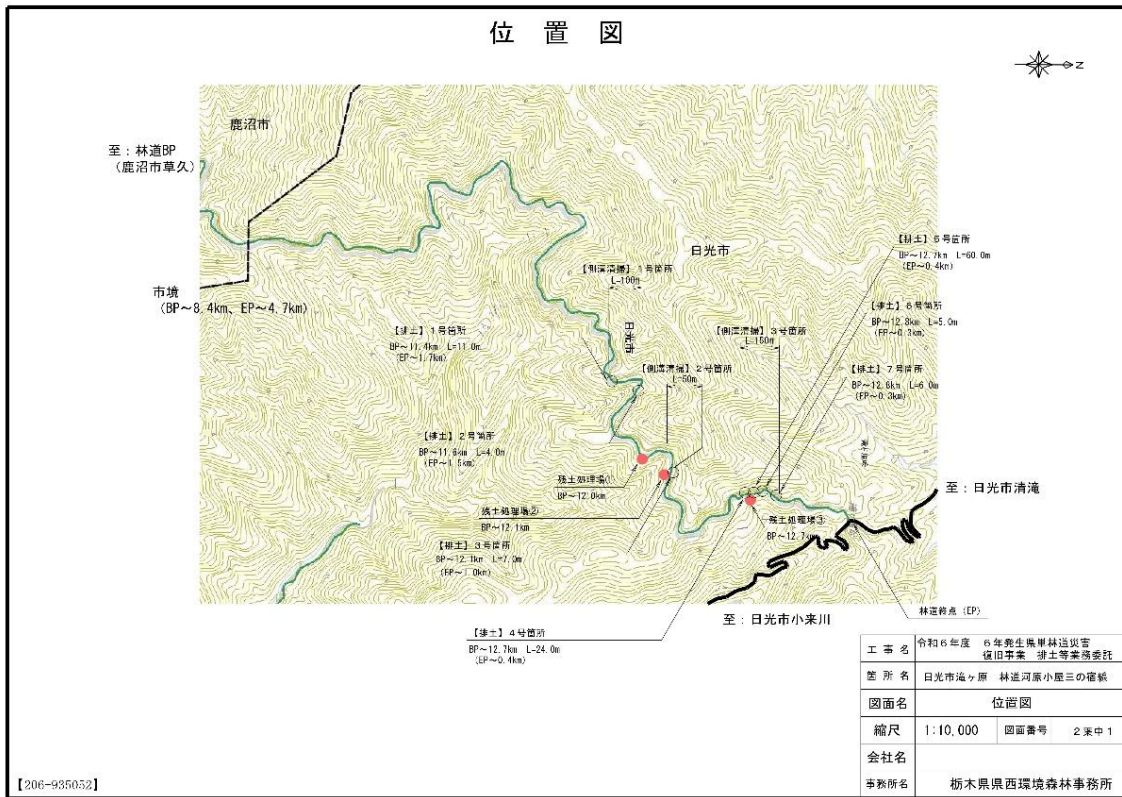
○「Forest Track」を活用することで…



- 搭載された「赤色立体地図」及び「GPS機能」により、容易に被災位置の確定が可能。
- 計測成果データ（赤色立体地図等）をmicroSDカードに保存しているため、電波の届かない山間部においても使用可能。
- 写真撮影位置及び位置毎の撮影写真が確認できるため、写真の整理が容易。

(3) 災害調査での活用（林道施設の事例）

○「Forest Track」を活用することで…



○位置の確定が容易になったことから、発注図面や作成資料の精度が向上したほか、業務に要する時間が短縮された。

